



いわき市立久之浜第二小学校 学校だより

「広い世界が開けてる」

平成28年12月20日(火)発行 第19号

文責 山田 弘

いわき市大久町大久字矢ノ目沢12

TEL 0246-82-3041 FAX 0246-82-3190

ホームページ http://www.iwaki.gr.fks.ed.jp/?page_id=86

学校目標

考える子

なかよい子

がんばる子

【今年度の重点目標】
相手の考えをよく聞き
自分の意見をしっかり話す

◎12月22日(木) 第2学期の終業式です。11:00下校予定です

◎12月23日(金)～1月9日(月) 冬休みになります

◎1月10日(火) 第3学期の始業式です。11:00下校予定です

福島県環境創造センター(コミュタン福島)に行ってきました

福島県環境創造センターは三春町にあります。磐越自動車道船引三春 IC 出口を左折し、国道288号線に進み、田村西部工業団地内にあります。案内も出ているのでわかりやすいところにあります。12月16日(金)全校生で見学に行ってきました。

ここは「ふくしまの3.11から」「ふくしまの環境のいま」「放射線ラボ」「環境創造ラボ」「環境創造シアター」の5つのテーマで学びと体験をすることができる今年7月に開館したばかりの施設です。学校だけでなく、ご家族でも見学ができます。入場は無料です。ぜひご家族でも見学されてみてください。

今回は通常の見学・体験の他に、下級生にもわかりやすいように、ふだんは目でみるできない放射線を自分の目で見る装置(「霧箱」といいます。自然界に存在する放射線が通った道筋に霧が発生し、その飛跡を見ることができる装置です)の製作と、それを使って放射線が通った跡の観察を縦割り班ごとに分かれて体験研修として行いました。放射線は原発事故の際にのみ出たものではなく、地球上どこにいても宇宙から大地から空気中から自然に降り注いでいるものです。私たちの身の回りには常に放射線が飛んでいます。モニタリングポストの数値が0にはならないのはそのためです。いくつかの種類がある放射線の中で、今回は紙でさえぎることができる α 線や強力な磁石によって放射線の飛ぶ方向が曲げられることや時間が経つに従って飛ぶ個数が減衰していくことなどを自分の目で見て学びました。

5つのテーマのうちの「環境創造シアター」は、世界に2つしかない360°の映像を体験できる、全球型のシアターです。ここでは、放射線のことと福島の豊かな自然や文化などを、美しく迫力ある映像で見ました。空から撮影した波立海岸や久之浜の美しい映像も流れ、まるで自分が翼を持った鳥になって空を飛んでいるかのようでした。足下にも映像が流れ、体がむずむずする感じがしました。ナレーションは地元福島出身の西田敏行さんがつとめていました。

半日の見学・体験学習では時間が足りないくらいでしたが、多くのことを学ぶことができました。



放射線が飛んだ様子は
このように見えました